

平成29年度 前期「渋谷開講科目」追試験 リポート科目
提出期限:8月10日(木) 17時(締切厳守) 提出場所:渋谷教務課リポートボックス

※提出の際には**所定の表紙**をつけること。

提出先	曜日	科目名	教員氏名	レポート内容
渋谷 教務課	水6	神道教化概論 I	新井 君美	「神道と神道教化」(平井直房・神社新報社)を読んで、神社の公共性という概念を踏まえて考え得る具体的な教科活動について考えるところを述べなさい。(500字以上)
	金6	日本の政治A	米山 忠寛	<p>※【1】講義課題・【2】自由課題の両方に解答すること。両方をまとめてA4サイズに綴じて提出すること。</p> <p>【1】問題:戦後日本政治においては、なぜ自民党一党優位体制が成立したのでしょうか。対峙していた野党の状況について、社会党を中心に戦後日本の政治における与野党の状況を整理して論じて下さい。</p> <p>【ヒント語句】:【共産党】【左派・右派】【革命志向】【「階級政党」を目指すべきか】【プロレタリア独裁】【江田ビジョン】【1960年体制】【革新自治体(社・共)】【安保・9条】【片山内閣・芦田内閣】【社会主義と社会民主主義】【三大政党(自由・民主・社会)】【60年安保闘争・国会包囲】</p> <p>【2】講義で対象にした戦後日本政治・派閥政治・社会党と与野党対峙、などに関する研究論文(研究書の1章分などでも可)を2つ自由に選んでテーマ設定を行い、内容の要約と2つの文献の比較を行いながら論じてください。 (分量は要約・比較など合わせてA4・2枚:3,000字程度以上を目安に、長くなる分には構いません。) ※どの文献をレポートの対象として取り上げるかという選択自体がレポートへの評価の重要な評価基準であることに留意して、一般書などの利用については選択には注意すること。 ※氏名・学籍番号・分析の対象とした2つの文献・参照した文献、などを忘れずに記載すること。 (引用・参照した文献については著書・書名・出版社・刊行年を忘れずに記載すること)</p>

平成29年度 前期「渋谷開講科目」追試験

試験日:8月8日(火) 場所:120周年記念2号館 2301教室

※試験開始**15分前**までに入室すること。学生証を必ず持参すること。

※通常の開講時間帯と今回の試験時間帯が異なる場合がありますので注意してください。

追試 時間	追試 時間	開講曜日	科目名	教員氏名	披見	可の内容
2限 2301 教室	11:10 ~ 12:10	火5	中国学入門	青木洋司	可	ノートのみ可。ただし、(1)プリントはノートに貼る。(2)板書の部分のコピーは不可である。この2点を守れない場合は、披見が不可となる。
		月2	倒産法(2)	大江毅	可	電子機器を除くすべて
		月3	論理学A	金杉 武司	可	毎回の授業で配布したA3両面印刷のプリント(自筆書込がなくコピーしたものでも可)のみ
		木4	日本の経済	石井 里枝	否	
		火5	日本語学 I	小川 定義	否	
		月4	日本語学講読 I	小田 勝	否	
		火4	古代日本語文法 I	小田 勝		
		金2	環境と技術(動物の歴史とヒトへの歩み)	加藤 季夫	否	
		金2	中国語基礎A I	角屋 明彦	否	
		月4	EU経済	亀卦川 芽以	否	
		火1	社会保障の基礎	田原裕子	否	
		月2	経済理論入門	細谷 圭	否	
		月2	国際人権・人道法	宮内 靖彦	否	
3限 2301 教室	13:20 ~ 14:20	月2	日本経済史(2)	石井 里枝	可	ノート
		月3	経済史の基礎	石井 里枝	可	教科書(杉山伸也『グローバル経済史入門』岩波書店、2014年)、ノート
		金3	東洋史概論 I	江川式部	可	配布プリント
		火2	民法・親族	桶田和子	可	指定六法
		月4	博物館資料保存論	落合 知子	可	配布資料・ノート
		土1	フランス語演習ⅣA	土屋 良二	可	仏和辞典(電子辞書可。スマートフォンの辞書不可)
		木1	哲学概論A	西村 洋平	可	授業で配布したプリント(コピー可)、ノート(コピー可)
		月3	医事法	廣瀬美佳	可	全て(電子機器類を含む)
		火2/金2	中国語基礎演習	浅野春二	否	
		火3	神道教化概論	藤本 頼生	否	
月2	日本思想史A	山本 眞功	否			
4限 2301 教室	15:00 ~ 16:00	月5	博物館概論	青木 豊	可	電子媒体を除くすべて
		金4	西洋政治史A	浅井 亜希	可	テキスト、ノート、レジュメ
		月2	西洋地域史Ⅲ(2)	池本 今日子	可	配布資料。ノート。
		火5	個人と国際法	櫻井大三	可	①条約集(いずれのものでもよいが、コピーは不可)、②教員が授業時に配布したレジュメ等の資料(書き込みがあっても構わない。)、③ノート
		水2	学校図書館メディアの構成	須永 和之	可	教科書(『分類・目録法入門』第一法規)とノート、講義中に配付した課題の資料・参考となる資料
		金4	フランス語中級B I	武田 はるか	可	すべて可。(電子機器は不可)
		金5	心性と思想(文学と時間)	武田 はるか	可	電子機器以外はすべて可とします。
		火2	地域文化と景観概論 I	三河雅弘	可	配付プリントおよびノート
		金1	教育と社会	岩本俊一	否	
		水1	経営史(2)	金 花	否	
水3	法制史A	田中憲彦	否			
金3	経営組織	藤山 圭	否			
5限 2301 教室	16:40 ~ 17:40	水6	自然地理学	池田 敦	可	制限無し
		木1	生活と文化(『源氏物語』を読む I)	大津 直子	可	配布物、ノート(テキストは不可)
		火2	総合講座(日本研究入門①)	岡田 誠	可	授業時の配布プリント。ノート。
		木2	簿記と財務報告A	若林 利明	可	電卓のみ
		火1	神道と文化	上西 亘	否	
		月7	English I (R&W)	加茂 秀隆	否	
		火4	西洋地域史 I (2)	川村 信郎	否	
		金3	行政法ⅢA	高橋信行	否	
火2	English II (L&S)	中込 知子	否			
金4	人間と社会(メディアと視覚文化の歴史)	中田 健太郎	否			

試験日:8月9日(水) 場所:120周年記念2号館 2301教室

※試験開始15分前までに入室すること。学生証を必ず持参すること。
 ※通常の開講時間帯と今回の試験時間帯が異なる場合がありますので注意してください。

追試 時限	追試 時間	開講曜時	科目名	教員氏名	披見	可の内容
2限 2301 教室	11:10 ~ 12:10	木1	English II (R&W)	杉野 俊子	可	教科書、プリント
		水1	図書館制度・経営論	大和 博幸	可	推敲用紙、ノート
		火5	心性と思想(帝から読む『源氏物語』) 言語と思想049	春日美穂	可	授業で配布したプリント、ノートのみ持込可。
		水2	日本古典文学研究 I A	鈴木 道代	可	授業時プリント、ノート、資料コピー
		木1	地球と環境006 環境と技術(宇宙と元素のおいたち)	辻本 拓司	可	ノート、プリント、コピー
		金1	西洋政治史A	横山 謙一	可	すべて持込み可
		木4	国際私法A	佐々木雄一	否	
		月1	中国語 I	蘇 紅	否	
		火3	中国古典読法 I	渡辺 正一	否	
3限 2301 教室	13:20 ~ 14:20	水3	アメリカ経済	渋谷 博史	可	教科書『アメリカ経済とグローバル化』
		月2	予算管理	東海林孝一	可	文書保存機能のない電卓のみ持込可(通信機能付きの機種、及び電子辞書等が内蔵されている機種は認めない)
		水3	日本文化を知る(和歌をまなぶ)	田中 章義	可	『天地のたから』(角川学芸出版)、『十代に贈りたい心の名短歌100』(PHP研究所)、『世界で1000年生きている言葉』(PHP文庫)、授業時の配布資料すべて、ノート
		水1	English II (L&S)	甲田 亜樹	否	
		金3	キャリアデザイン(SPI非言語項目対策) 数的推論	橋口武英	否	
		木6	社会学A	田中 和子	否	
		金3	美学A	西村 清和	否	
		月4	日本の経済思想	仁木良和	否	
		水4	道徳教育の理論と方法(中・高)	今関 和子		確認後、連絡します
4限 2301 教室	15:00 ~ 16:00	水4	生涯学習概論Ⅱ	上田 幸夫	可	テキスト、ノート、プリント
		金2	外国文学Ⅲ(ヨーロッパ)	宍戸節太郎	可	授業時に使用した資料、およびノート
		月3	日本史概論Ⅰ	柴田 紳一	可	配付資料とノートのみ(書籍の持込みは不可)
		金6	日本時代史Ⅷ(2)	柴田 紳一	可	配付資料とノートのみ
		月5	法社会学A	前川佳夫	可	ノート、授業時配布資料、六法。
		木6	宗教学Ⅰ	黒崎浩行	否	
		木3	西洋哲学史ⅡA	小手川 正二郎	否	
		月4	20世紀の政治A	坂本 一登	否	
		火6	コンピュータと情報	射場雅代	否	実技形式の試験の為、担当の指示に従う ※試験15分前に教務課に集合し、コンピュータ教室1に向かいます。
		火6	古典講読ⅢA	松本 久史	否	
		火2	日本の基層文化(民俗宗教論)	茂木 栄	否	
		金4	日本宗教文化論Ⅰ	茂木 栄	否	
		月5	人間と社会(ワークルール入門)	本久洋一	否	
5限 2301 教室	16:40 ~ 17:40	木3	歴史考古学Ⅰ	青木 敬	可	配布資料、ノート
		木3	国際政治A	磯村 早苗	否	
		月4	生活と文化(文化資源と知的財産)	生越由美	否	
		水7	日本時代史Ⅶ(2)	黒川 徳男	否	
		火3	西洋美術史ⅡA	小池 寿子	否	
		木6	祝詞作文Ⅰ	星野光樹	否	
		木7	神社祭式概論Ⅰ	星野光樹	否	
		水3	人間と社会(日欧の見聞記を読むⅠ)	村岡 正明	否	

試験日:8月10日(木) 場所:120周年記念2号館 2301教室

※試験開始15分前までに入室すること。学生証を必ず持参すること。
 ※通常の開講時間帯と今回の試験時間帯が異なる場合がありますので注意してください。

追試 時限	追試 時間	開講曜時	科目名	教員氏名	披見	可の内容
2限 2301 教室	11:10 ~ 12:10	水2	消費情報教育	久保田 裕子	可	配布資料などすべて。電子機器類不可
		木4	人間と社会(身体文化論)	水無田 気流	可	紙類(配布レジュメ、テキストをはじめとする書籍等)は全て持込可。電子機器は不可とする。
		火1	刑事政策A	安田 恵美	可	紙媒体のみ
		金2	英語Ⅲ	大前 義幸	否	
		月6	1st Year English	平尾 吉直	否	
		土2	English I (R&W)	平野 裕美	否	
		木3	日本語学概説Ⅰ	吉田 永弘	否	
3限 2301 教室	13:20 ~ 14:20	火2	日本美術史A	藤澤 紫	可	テキスト『遊べる右京体験版江戸文化入門』、授業時配布レジュメ、ノート
		水4	心性と思想(芸術作品と芸術理論)	藤原 えりみ	可	ノート、K-Smapyにupした参考資料のコピー。シンシア・フリーランドの著書『でも、これがアートなの』
		月3	行政学A	稲垣 浩	否	
		月5	情報処理の基礎	岡田長治	否	
		金2	英文法A	出世 直衛	否	
		木5	法学(日本国憲法)	山崎英壽	否	
4限 2301 教室	15:00 ~ 16:00	火3	情報社会と職業	大西 祥恵	否	
		月5	神道と文化	小平 美香	否	
		水1	English II (時事英語Ⅰ)	谷 佐保子	否	
		火2	博物館資料論	山田磯夫	否	